



締め挨拶で自身の名前「たかはし」の部分で嘔吐(涙) 場内がざわつく事はなかったが、皆心の中で笑っていたはず

2面 NBG 11月22日 ジェリン 24歳? 25歳? 26歳? ん? 23じゃないよね?

田代ワッフル大会

11.16 東市来子どもも大会

炸裂

「見た事のない世界」を魅せる

世界初 70億分の5 信じるか信じないかは君次第



ネットであらゆる検索ワードで隅々まで検索した。おそらくではあるが、慰霊堂マッピングとオタ芸の融合は世界初と思われ、マッピングの定義が物体や建物なり。であればマッピング映像の前でオタ芸を踊ったのは全世界でこの5名だけとなる。振り返れば7月末時点で最高の状態に仕上がったが、後の相次ぐ祭り順延でのモチベーション低下と「アカツキ」に飽きてしまった感があったように思え、明らかにキレが弱くなっていた。本番間近の練習で5名を集め70億分の5の話をするとなんか蘇った。過去になんかキレを感じ倒された。そのままリハ、本番と気迫すら感じるオタ芸を展開し過去最高を魅せてくれた。どんどんカッコよくなつていくオタ芸。しびれた!感動した!焼肉をおごってあげたいぐらい感謝である。マジで

クラウドバスターソード 改良に踏み切る
来春 軽量化を目指し素案を提出 **え?どこに?**

農村スポーツ
2019年 11月17日 (赤日) NOUSON SPORTS
農村スポーツ新聞社 899-2311
No.2915号
https://www.nouson.co.jp ※このURLはなんちゃってです。



この日の田代マンは晋作【中身は入れ替わる】

全部まとめて活動実演

大合唱「農村ラプソディー」

場面を見る事ができた。一見破天荒で、

東市来文化交流センターで田代子ども会活動報告ライブが行われた。通常この大会は子ども会の活動を発表し、町全体の子ども会活動を活性化するのが目的であるが、実はそこが最終目標ではない。突き詰めていけば最後は「人間を高める」というところに行き着く。話せば長くなるので割愛するが、そういった意味でも今回の田代子ども会の目標は「絶大なインパクトの投下」田代は凄いなと思わせる事だ。それだけである。「展示もステージも全て子どもの手作り」を重んじればそれは美しい話ではあるが現実的にそれ以上はない。集落が死活問題に差し掛かってきている今、過去の風潮に流されていくのは辿り着く先は奈落の底。ミラクルを起すために必要な事は「未踏の地」を踏む事である。答えは簡単、歌とダンスをベースに活動ライブを慣行する事だ。時間の全てをステージ練習に費やした子ども達は田代ラップをしっかりと歌い上げ活動演技、オタ芸と練習以上のパフォーマンスを展開。最後の歌「農村ラプソディー」では全員が肩を組み、超元気に歌い上げる涙が出るほどの感動的場面を見る事ができた。

ビデオも上映



ここでもブラック劇場



それでもブラックは後でなければならぬ

本来の活動報告とは的がずれているように見えるが逆であると私は思う。今までの活動報告スタイルでこれまで何が変わったか、今後どう変わっていくのか、それには何十年かかるのか答えられる人間はいないだろう。今回のように圧倒されるほどのエネルギーを発し「見た事のない世界」を魅せれば他の地域の活動も活性化していくのではないかと思う。表面的なものではなく内面から放たれるエネルギーこそが変わっていくために最も重要である。もうこれ以上い事が書けないため砕けた話しをしよう。最後の最後に田代マンブラックが決めポーズをするシーン。幕が下りきるまで絶対に動いてはいけないのだが、ポーズの後すぐに歩き出そうとし慌てて止まり、おどおどするあれは何なのか?しかも幕が頭上に差し掛かったあたりで執拗に「俺様アピール」をし始めた2.5秒間は何なのか?彼が本番に弱い事はわかった。しかし終わってからすぐに仕事に向かう姿を見て「あれもこれも全部が田代マンブラック。これからも頼んだ」とは思わなかった。いつかブラック劇場罪と罰で制裁してあげようと思った。

謎 公民館は帽子 数年間動かず

謎 公民館は帽子 数年間動かず

ドローンが活躍した日

ドローンが活躍した日

ジョングの脚の話2

ジョングの脚の話2

高速スライドショーの1シーンを解説

高速スライドショーの1シーンを解説

ジョングの脚の話

ジョングの脚の話